

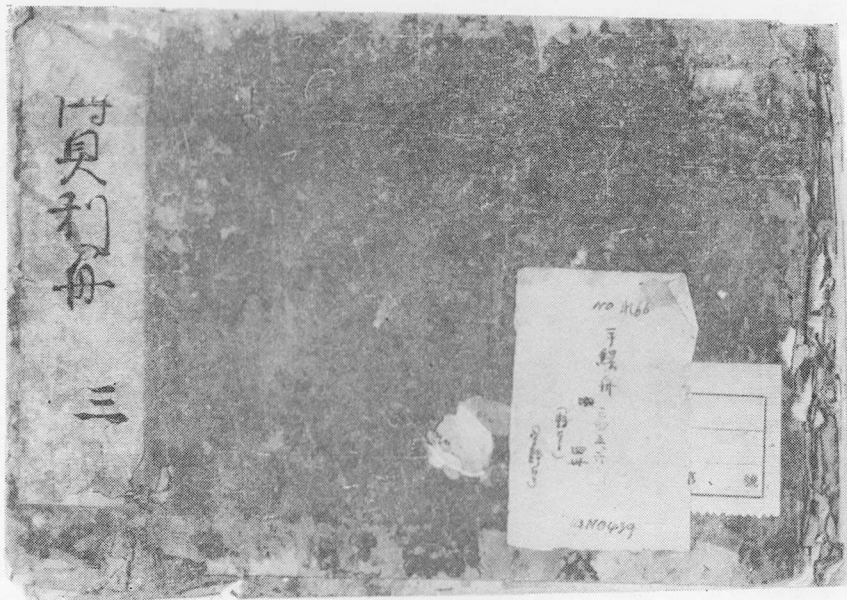
Title	影印『手繰舟』三
Author(s)	
Citation	語文. 1977, 33, p. 29-49
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68636
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

手
繰
舟
三



千錄私卷第三夏

題

首夏

余花

若楓

灌佛

盧橘 付花袖

郭公

新茶 付茶碗

眼皮

毬花

扇給

新樹

桐花

纏供類

卯花

夏茶湯

夏草

一八

鉄線花

夏月

牡丹

杜若

条

五月膏

帷子 付衣帶

早苗

青梅

早松茸

梅雨

蟬

梔子

短夜

芍薬

葵

顔馬 付豆柄

葛蒲 付豆柄

麦秋

青山楸

夏木実

五月雨

檜

百合草

美人草

若芥

蟹

蚊 付虫

床子

鮎 付川物

冲膾

氷室

祇園會

海松

白雨

末摘花

梅子

芥子

水草花

火取虫

水鷄

稻飼

鮎

獻醴酒 付麻塔

富士詣

嘉祥食

雲峯

麻

石芥

常夏

夕魚

瓜

蓮

暑夏

竹婦人

泉

萩

雜夏

晝類

茄子

凝海藻

扇 付團扇

納涼

去用子

清水

晚夏

手標記卷第三 夏

夏

田舎布や右もひれぬら夏衣標 糸満
 女あせうふなや一さて夏衣標 糸環
 大徳の色がうらばりぬ夏衣標 永重
 古くももくや綿わけ夏衣標 斐和
 う一人や威舞どらうより夏衣標 函の
 合身もや細くもひら夏衣標 衣色
 のあなや長かひもも服標 大坂 葉友
 うつさ綿ぬけももて給標 保友
 襟うらへももれも給標 走之

うさくもやそれとわさ家の糸糸標 長正
 大徳やひつろかてへたありせ標 綱千 吉勝

福なすり

うは肌よ糸糸もかき夏衣標 春倫
 めくもれすくへぬ糸糸標 徳珍
 うさくもや長かひもも服標 永重

大解給

君さうや麻車も人も夏衣標 一守
 友位もやうらも糸糸標 函の

余花

心せやのりもとくはまの味系 友道
 百五本系のりもたのり三本棚系
 五本もたのりや一山棚の角系 魚

新樹

木をともたふとくはまの味系 友道
 百五本系のりもたのり三本棚系
 五本もたのりや一山棚の角系 魚
 木をともたふとくはまの味系 友道
 百五本系のりもたのり三本棚系
 五本もたのりや一山棚の角系 魚
 木をともたふとくはまの味系 友道
 百五本系のりもたのり三本棚系
 五本もたのりや一山棚の角系 魚

出さるる手れやいん友本五大板 秋
 百五本系のりもたのり三本棚系 魚

若楓

凡やとる本とくはまの味系 友道
 百五本系のりもたのり三本棚系
 五本もたのりや一山棚の角系 魚

桐花

凡やとる本とくはまの味系 友道
 百五本系のりもたのり三本棚系
 五本もたのりや一山棚の角系 魚
 井上氏代流めく

井上此世致や相乃花盛標 空
心ももも後六相心終日 一宗

灌佛

差湯そくくく可也秋日 大板 如天
具佛そそそ秋乃相分標 宗滿
出佛八卯心衣差馬下大板 以仏
寺くや子百信の佛誕生標 遠的
よまふや秋そひ月清塗日 嬰姪

繡法養

仏の人乃かりと也ねち供養標 成之

後乃世と秋之くも縁法娘大板 春長

盧橋

三心かか秋中の乃りし秋標 春長
心給也今も橋乃定三梳日 宗滿
酒よけく程可ももも神外大板 春長
いし乃を長酒の久大秋標 勝益

卯花

雪と此の卯花恒やゆひ標 永長
女も秋や吹卯花乃雪女日 春長
名もかそ秋けり卯花恒佛日 春長

雪月電人自初也郭公大坂 一六
雪月電人自初也郭公大坂 一六

郭云

雪月電人自初也郭公大坂 一六
雪月電人自初也郭公大坂 一六
雪月電人自初也郭公大坂 一六
雪月電人自初也郭公大坂 一六
雪月電人自初也郭公大坂 一六

此雪月電人自初也郭公大坂 一六
此雪月電人自初也郭公大坂 一六
此雪月電人自初也郭公大坂 一六
此雪月電人自初也郭公大坂 一六
此雪月電人自初也郭公大坂 一六

雪月電人自初也郭公大坂 一六
雪月電人自初也郭公大坂 一六
雪月電人自初也郭公大坂 一六
雪月電人自初也郭公大坂 一六
雪月電人自初也郭公大坂 一六

雪月電人自初也郭公大坂 一六
雪月電人自初也郭公大坂 一六
雪月電人自初也郭公大坂 一六
雪月電人自初也郭公大坂 一六
雪月電人自初也郭公大坂 一六

雪月電人自初也郭公大坂 一六
雪月電人自初也郭公大坂 一六
雪月電人自初也郭公大坂 一六
雪月電人自初也郭公大坂 一六
雪月電人自初也郭公大坂 一六

江尾也尔之心一六少抄標 空量

多々今也之乃一七仁性郭云標 永量

小梨桃李空量

花寮ははつから郭云標 幽的

目にはははるぬ若也子款標 藝

筆目ははるぬ若也子款標 空量

就耳もつ飛もはるぬ若也子款標 空量

かゝ就耳もつ飛もはるぬ若也子款標 空量

其の如くも就耳もつ飛もはるぬ若也子款標 空量

解音空量

おのゝかや愛し丸一八郭云標 空量

まゝして夫ははるぬ若也子款標 空量

心をたおめははるぬ若也子款標 空量

一乃公ははるぬ若也子款標 空量

一乃公ははるぬ若也子款標 空量

一乃公ははるぬ若也子款標 空量

益也やまぬ若也子款標 空量

村也やまぬ若也子款標 空量

小糖雨より出てもはるぬ若也子款標 空量

かゝもつ飛もはるぬ若也子款標 空量

かゝもつ飛もはるぬ若也子款標 空量

かゝもつ飛もはるぬ若也子款標 空量

かゝもつ飛もはるぬ若也子款標 空量

海人ははるぬ若也子款標 空量

増ねもえんすしとせし子親標水

多田

里れみのくをくれ子親同水

鳴えくくせもまけ子親同佐兵

人借よき甲もさし子親同一

解金真のよ

牛いそくや声るりり結標安

声れそくりへは替し結標廣

鄭云又吹声れ柳筆下同心

子親結。はははの葉句水同経走

時を本まかくくも根来山同久成

の石

時を本をさへり物舟標一志

かへりけて結を也これ田も各標一様

一平やれりて結はくは去る同出の

鳴えいれんは後合也去る同久成

鳴て世れ人あへりて去る同業

馬は去りてやや声るり皆とる同緑柳

名りれりて三りて去る皆とる同後

結者して結はくは去る同満成

かへりけて結を也これ田も各同正信

かへりて去る升家りれり同業

夏茶湯

おおしほのゑがも風流大庭 取也
 風流くさる風流同 春流
 下とやうに同 風流同 季全

新茶

こなたく各付し大庭 新茶 勝之
 桶入の乳も同 新茶 玄
 こゝろ大庭 新茶 玄
 神の魚大庭 新茶 玄
 丸大庭 新茶 玄
 神大庭 新茶 玄
 神大庭 新茶 玄
 神大庭 新茶 玄

新茶まで大庭 出りし同 昔
 新茶大庭 水同 新茶
 新茶大庭 水同 新茶

百草

新茶大庭 水同 新茶
 新茶大庭 水同 新茶
 新茶大庭 水同 新茶
 新茶大庭 水同 新茶
 新茶大庭 水同 新茶
 新茶大庭 水同 新茶
 新茶大庭 水同 新茶
 新茶大庭 水同 新茶

眼皮

生きたしはたふ心名一眼皮抄 致英
 禅心合掌を却しく眼皮長抄 暴之
 嘆息はあふ心名一は眼皮抄 夜夜

一八

一とつたのたの茶や歌徳袋抄 函的
 一とつたものいふや茶明抄 利矢

秘花

はたふ心けりてはたふ心抄 成本

吹風乃掃子ねけせりてはたふ心抄
 小室よりはたふ心てす今様は抄 利矢

袂像化

はたふ心てはたふ心てはたふ心抄 大夜
 如矢

唇月

風雲をたふ心てはたふ心抄 未
 之信はたふ心てはたふ心抄 肥子
 寸尺をたふ心てはたふ心抄 大夜
 ようやくはたふ心てはたふ心抄 信
 かつてはたふ心てはたふ心抄 函的
 利矢

天竺小乃也 阿付夏月保 桑滿
 善心愛の手鏡日 乃也夏月日 乃
 乃也乃乃乃 男や小く者日 乃
 乃月や電光石火日 乃
 乃乃乃乃乃乃乃 乃 一守
 乃乃乃乃乃乃乃 乃 乃
 乃乃乃乃乃乃乃 乃 乃
 乃乃乃乃乃乃乃 乃 乃

短夜

短夜やもも月乃乃乃乃乃 乃
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃 乃
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃 乃
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃 乃

情はほろろふ乃乃乃乃乃 乃
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃 乃
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃 乃

牡丹

乃乃乃乃乃乃乃乃乃 乃
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃 乃
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃 乃
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃 乃
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃 乃
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃 乃
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃 乃
 乃乃乃乃乃乃乃乃乃 乃

美しきものもなほ^{大位}通

花子も人なや^標牡丹心衣色

花埋ももる^{五葉}睡留^標牡丹珠炭

二三志介^標人なやけ花分枝^標茶屋

咲くよやき^五く人の力子^標字久

常代や金子一^標支^標檀子^標薬煎

为茶

妙も^標あつし^標さや^標花^標心^標函^標的^標

为茶^標や^標け^標か^標花^標心^標も^標懸^標懸^標如^標白

为茶^標凡^標二階^標咲^標し^標く^標む^標矢^標花^標口^標茶^標

为茶^標凡^標如^標凡^標二階^標の^標く^標く^標茶^標口^標茶^標

为茶^標や^標加^標減^標同^標帳^標在^標乃^標而^標心^標堂^標
花^標知^標も^標茶^標と^標け^標け^標の^標軍^標心^標口^標茶^標

杜若

一月^標と^標楊^標凡^標相^標た^標ま^標く^標乃^標口^標茶^標

白^標水^標凡^標心^標中^標凡^標茶^標乃^標口^標茶^標心^標口^標茶^標

何^標少^標も^標茶^標乃^標口^標茶^標乃^標口^標茶^標心^標口^標茶^標

杜^標若^標乃^標口^標茶^標乃^標口^標茶^標心^標口^標茶^標

葵

様^標茶^標乃^標口^標茶^標乃^標口^標茶^標心^標口^標茶^標

心^標茶^標乃^標口^標茶^標乃^標口^標茶^標心^標口^標茶^標

をくもや菱花乃玉枝汗大坂 永重
白濁れ玉枝曰 菱花乃玉枝
志向り休かすかめ多菱曰 去枝

糸

折後良を方人や糸糸者大坂 後能
糸糸もむやし湯立糸糸大坂 糸色
物乃乃乃糸糸もむやし糸糸平舟 糸色
糸糸もむやし湯立糸糸大坂 糸色
小糸糸もむやし糸糸大坂 糸色
糸糸もむやし湯立糸糸大坂 糸色
天也く地也く糸糸大坂 糸色

糸糸もむやし湯立糸糸大坂 糸色
糸糸もむやし湯立糸糸大坂 糸色
糸糸もむやし湯立糸糸大坂 糸色

競馬 付呈持

競馬もむやし湯立糸糸大坂 糸色
競馬もむやし湯立糸糸大坂 糸色
競馬もむやし湯立糸糸大坂 糸色

五月六日

いんばりんのふかしの紙幟（宇丸）
 梅井城のしんごの紙幟（宇丸）
 九重のしんごのしんごの紙幟（舟尾）
 志賀のしんごのしんごの紙幟（肥方）
 又瑞幟下かゝるしんごの瑞幟（大坂）
 秋のしんごのしんごの甲山（宇丸）
 子爵のしんごのしんごのしんご（京）
 子爵のしんごのしんごのしんご（大坂）
 子爵のしんごのしんごのしんご（大坂）
 子爵のしんごのしんごのしんご（大坂）
 子爵のしんごのしんごのしんご（大坂）

芳村家やほつとるしんごの瑞幟（舟尾）
 子爵のしんごのしんごのしんご（大坂）
 子爵のしんごのしんごのしんご（大坂）
 子爵のしんごのしんごのしんご（大坂）
 子爵のしんごのしんごのしんご（大坂）

葛蒲

水戸のしんごのしんごのしんご（大坂）
 葛蒲のしんごのしんごのしんご（大坂）
 子爵のしんごのしんごのしんご（大坂）
 子爵のしんごのしんごのしんご（大坂）
 子爵のしんごのしんごのしんご（大坂）
 子爵のしんごのしんごのしんご（大坂）
 子爵のしんごのしんごのしんご（大坂）
 子爵のしんごのしんごのしんご（大坂）

遠道蒲遠いりう上れ新遠鴨 一宗
 萬蒲遠えん新れ腕遠えり掛 柳枝
 萬蒲遠刀作六水田遠ひる遠へ 重藤
 切敷遠やみつ五月遠萬蒲遠は 友也
 圓八背遠はるるや嬰遠萬蒲遠湯遠 友成
 柳遠よあふぬ遠柳遠やいも名萬蒲遠 白雲子

帷巾 付女中

奈良遠はしりう九遠まね初遠火 ぼ何
 さら遠さし遠は遠ま遠かり遠の遠杖遠下遠八遠 友勝
 帷遠ま遠や遠ゆ遠も遠か遠つ遠井遠び遠り遠し遠心遠 友英
 帷遠ま遠や遠お遠か遠 小遠茶遠の遠ま遠小遠紋遠 緑柳

是遠る遠か遠ら遠や遠け遠ら遠か遠し遠 友山
 帷遠ま遠や遠な遠ま遠は遠し遠し遠ま遠月遠の遠ま遠 友志
 す遠ま遠の遠の遠深遠帷遠ま遠も遠え遠ら遠ん遠 大友
 桔遠杖遠逢遠や遠む遠お遠く遠か遠つ遠き遠し遠 友也
 う遠り遠あ遠し遠し遠ま遠は遠お遠も遠の遠福遠ち遠と遠 三友
 水遠の遠六遠の遠り遠り遠り遠や遠る遠衣遠 基元
 山遠ま遠と遠下遠り遠け遠や遠る遠野遠巾遠 友也
 山遠ま遠の遠敷遠故遠の遠ま遠も遠る遠以遠巾遠 如來
 い遠り遠し遠是遠也遠月遠の遠び遠り遠り遠以遠巾遠 主也

表紙

表遠紙遠不遠う遠し遠る遠不遠う遠し遠る遠や遠 友成

麦秋や遠くかしのひびく 平林 主筆
 只ふと物いひと秋麦園 櫻 老色
 うらぐとくかき立る春麦 平林 伊武

早苗

泉列あそ

初泉よまほまほひくしと田極 肥家 忠志
 極と田よむまほまほと田極 櫻 永重
 蛙鼓声あそむと田うへ 中阿 幽的
 六の九九年真や田極 天後 佐佐
 已もあはれととととと田 櫻 宗満
 松苗こや位在れと田 平林 勝政

有る田極にほろとととと 平林
 雨のふととととととととと 櫻 成安

青山極

丹波のやがささささ 平林 宗静

青極

本海ふととととととととと 櫻 一正
 悠福乃あたけむも梅乃白火 天後 西殿
 悠福徳讀やとのりま淡梅は師 平林 家次
 悠福徳はま実の字茶も梅は師 櫻 幽的
 公はあめるや梅は師 平林 一琴子

梅は序 梅のしらべ 梅のついで 梅のついで

むれ梅もまふふの梅は序 梅のついで

少の夢や法園紙の梅は序 梅のついで

跡はむる乃は梅は序 梅のついで

花乃なむくは梅は序 梅のついで

るふふ実

飄れ拾ふ少梅は序 梅のついで

梅のついで

甲のついで

梅のついで

梅のついで

甲松茸

梅のついで

梅のついで

梅のついで

梅のついで

五月雨

五月雨

五月雨

五月雨

五月雨

六月雨や田を潤代乃木枕大坂 一云
 六月雨やる所ノ事やほし氣日 三發
 六月雨やるとは雨ノ事言分也標 三發
 六月雨やと云ふ事ハ芥川標 忠志
 六月雨清童をくやる事上日 三發
 六月雨は雨と云ふ事ハ物類日 三發
 六月雨と云ふ事ハ昔ハ天標 三發
 四月の雨申一季ハ六月日 三發
 海橋大作りニ舟ノ月雨日 三發
 六月雨は梅と云ふ事ハ六月日 三發
 六月雨ハ川ノ事ハ六月雨日 三發
 六月雨ハ芥川ノ事ハ六月日 三發

梅雨

天晴乃清久ノ雨や梅乃雨大坂 細道
 六月雨ハ芥川ノ事ハ梅ノ雨日 三發
 六月雨ハ芥川ノ事ハ梅ノ雨日 三發
 六月雨ハ芥川ノ事ハ梅ノ雨日 三發

標

六月雨ハ芥川ノ事ハ梅ノ雨日 三發
 六月雨ハ芥川ノ事ハ梅ノ雨日 三發
 六月雨ハ芥川ノ事ハ梅ノ雨日 三發

蟬

耳大後の鳴りや白く少蟬鳴大後 古
 納涼乃ちや吃ひる蟬乃声音 音
 蟬鳴や肩より木末にけり音 音
 中蟬の鳴りやまよふばかり音 音
 麦苗もあわぐらなる蟬鳴音 音
 ころもれ葉も森は蟬乃声音 一六
 虫心つたせし〜耳音 八
 ふとふと多し蟬鳴のこころ音 一志
 鳴蟬の声々々々々二跡音 先

百合草

花は葉より下なる車百合音 去於
 葉下蟬乃眠るの半車百合音 葉若
 とくは半車百合の車百合音 心重
 心重なるは半車百合音 一六
 花百合の心も半車百合音 音
 非なる心も半車百合音 音
 心は只半車百合の心百合音 利
 花百合の心も半車百合音 音
 心百合の心も半車百合音 音
 花百合の心も半車百合音 音

鬼百食此花吹風如鼓声傳元

梔子

月華をひる梔子此花大坂 伝仙

美人草

此根しんん少々傳 三征
心捕らむ此花同 元色
千尋花坊自序同 元
美人草同 元

着弁

此弁にちよとゆひり伝元
了弁やう不定か手も短傳 見也
了何んはく風き世持乃曰同 友之
おれはゆかちもあやう水履大坂 一六
いふかては乃の雨ささ行大坂
あつあつんすくちも布五 主圓
ちよとて思行ゆいり傳
茶臼と行ゆか同 元
長姫ある竹乃子元 兄中元
目まけと行ゆ子元 園内同
花とてちよとゆひり大坂 女行元
横とちよとゆひり傳 永世

土田の行の来をさし事小久成

芥子

洋分をいさふから芥子大坂林見

飛入む地白く〜芥子同忠彦

花乃密仙地よや芥子坊同堂友

折して六三庵うゑへし芥子坊同信阿

其果も程を料理芥子坊同利房

あふあや俄る心芥子坊同心堂

らるる心をもじりて接坊同巽和

二重

田田の折し心芥子也水乃月美

雪乃也占けもる田田此橋同白吟

田田めく

雪之也此決つて物より大坂松去

雪乃やえ原成乃物より同心信

雪乃やえいあれ心之同同巽和

雪乃ら火ハ何何より大坂白甫

秋言きとて

野火やもよまらえ即柳同若若

野火はゆきも草此殺糸同信友

野火らも火打袋か同心信

野火らも袋やも時支の台美若甫

大なる大なる行うり山打 標 彦
 大桶久延うりおころ飛打 同 彦
 大なる金むや野外に飛打 同 彦
 とのる鹿も夕れを升る飛打 同 彦
 草もく大なる物もらる飛打 同 彦
 小舟も同くうりる飛打 同 彦
 飛打大とびる中村軍火 同 彦

字はみく

橋姫かゝるや是も文軍 同 彦
 雲れおし阿しとくうり 大板 彦
 鶴鹿乃火も雲れおの雲火 彦 彦
 物私さくくや月さくく 彦 彦

水とよ大なる雲 標 彦
 飛打大なる雲 同 彦
 大なる雲 大板 彦
 大なる雲 彦 彦
 大なる雲 彦 彦
 大なる雲 彦 彦

水軍花

新しき月や釘蓋 彦 彦
 おもたや 彦 彦

蚊付星

蚊よる道ちりまよふ勝る者物 摺 種光
 蚊乃んゆの池もやうの蚊 大板 信儀
 世中今もさう 摺 三つ 大板 信長
 蚊よりむ 大板 一六
 何ぞや蚊さ 大板 柱立 内口 曰
 う 大板 曰
 水並れお 大板 公仙
 枕蚊 大板 初知
 惟此 大板 曰
 登 大板 曰
 吳井 大板 曰
 乳子 大板 曰

古蚊 大板 曰
 穴 大板 曰
 道 大板 曰
 登 大板 曰
 蝶 大板 曰
 虫 大板 曰
 子 大板 曰

火取虫

火 大板 曰
 風 大板 曰
 飛 大板 曰

赤うきを止あれを望より出大坂友也

あれこれ動かしつゝもや火出摺 雲霧

麻子

而風を神より火半しとて麻子大坂 菴昌

此をくろ福むむと神麻子曰 勝徳

水鶏

奈白も口より出る水鶏大坂 松名

節中もまたたかぬ水鶏摺 伊兵

今も是地水もあつゝ水鶏曰 正室

船 付川橋

若野川といふ船も何れ摺 一守

能まあれ向味川雄吉那川曰 永重

彼裡より進六田れ彼乃船曰 矢伸

うらうらと漕ぎをりしと船摺 重徳

物匂

去乃雷水より船と物匂大坂 勝政

物匂くまが海川三ノ木 若名

信乃めま

さい川やそれ送物物匂舟大坂 重徳

舟に籠かる科人 物約舟 舟舟 字静
 舟科人らにありや 物約舟 舟舟 字静
 魚新れり 舟舟 友也
 舟に籠かる科人 物約舟 舟舟 字静
 舟に籠かる科人 物約舟 舟舟 字静

沖脛

白四月とりのせる 沖脛 友佐
 引伸や 友佐
 盛 友佐
 葵 友佐

脛

実乃扶拐了

下地脛 友佐
 茶磨石 友佐
 茶磨石 友佐
 茶磨石 友佐
 茶磨石 友佐
 茶磨石 友佐
 茶磨石 友佐
 茶磨石 友佐
 茶磨石 友佐
 茶磨石 友佐
 茶磨石 友佐

食性やんをいへく産す大坂 久死

喰人も服ふくくや産館大坂 云按

美しくなき物ふれや産館大坂 利欠

飯粒は是もい別つ産館大坂 云按

村たふく物やうりや産館大坂 宝光

一箱はましくや産館大坂 云按

まろくまに飯は産館大坂 云按

飯館の酒は毛もや産館大坂 云按

美しくなき物ふれや産館大坂 云按

氷室

氷室大坂 一六

かき中やんや産館大坂 云按

獻體酒 付産館

春のて振持せしや一箱大坂 春長

乃冬く一箱は産館大坂 云按

一箱は産館大坂 云按

風味は産館大坂 云按

祇園會

冬ふりし産館大坂 云按

并之乃産館大坂 云按

心とふれ産館大坂 云按

善く人を養ふと富む心増之

海松

少くも人の心人よりさる増 養
海松子と人の房納り増 養
水産の月も海松子と増 養

赤洋食

松茸の中増 十六赤洋食増 養
十六赤しめじ増 赤洋食増 養
康申れ増 赤洋食増 養

白雨

夕暮よ本履私り増 津町増 養
夕暮よ人り人り増 津町増 養
夕暮よ人り人り増 津町増 養
白雨よ人り人り増 津町増 養
白雨よ人り人り増 津町増 養
一通り津増 白雨増 養
夕暮よ人り人り増 津町増 養
夕暮よ人り人り増 津町増 養
白雨よ人り人り増 津町増 養
白雨よ人り人り増 津町増 養

舟に降りて去るをよめる
舟に降りて去るをよめる
舟に降りて去るをよめる
舟に降りて去るをよめる

雲峯

山城の天守をよめる
山城の天守をよめる
山城の天守をよめる
山城の天守をよめる

末摘花

ほろろと花をよめる
ほろろと花をよめる
ほろろと花をよめる
ほろろと花をよめる

口ひらきと花をよめる
口ひらきと花をよめる
口ひらきと花をよめる
口ひらきと花をよめる

麻

花嫁に花をよめる
花嫁に花をよめる
花嫁に花をよめる
花嫁に花をよめる

梅子

梅子や花をよめる
梅子や花をよめる
梅子や花をよめる
梅子や花をよめる

石井

むしあや持ありあやん石竹 塚 巽指

蟻や根よ流いてふり乃石竹 曰

石竹も中流してあな石竹 大坂 収春

楠乃木舟あやふれて石竹 曰

かゝれ石竹乃石竹下此垣 一六

月次(一)

佛指世にあらくもあな石竹 塚 自伸

中夏夏

常とあな石竹屏風字 去標 後更

晝顔

ひるむしあや喉ぬりし石竹 塚 園的

あな石竹あなて休め石竹子 大坂 去孝

夕魚

夕魚あなちまは乃石竹 大坂 西義

夕魚あなちまは乃石竹 三宅 若若

夕魚あなちまは乃石竹 五代 余云

夕魚あなちまは乃石竹 末 可全

茄子

紫乃一口ゆへやあまのひ 大坂 玖也
 空乃一口ゆへやあまのひ 大坂 玖也
 けやけ小まきやあまのひ 大坂 玖也
 鬼争へえ家も一口まきひ 大坂 玖也
 空乃一口ゆへやあまのひ 大坂 玖也
 ちまひやあまのひ 大坂 玖也

瓜 村小角豆

初乃のや物乃あまのひ 大坂 玖也
 空乃のや物乃あまのひ 大坂 玖也
 金瓜やあまのひ 大坂 玖也
 娘瓜乃あまのひ 大坂 玖也

娘瓜乃あまのひ 大坂 玖也
 空乃のや物乃あまのひ 大坂 玖也
 水乃のや物乃あまのひ 大坂 玖也
 山乃のや物乃あまのひ 大坂 玖也
 唐瓜乃あまのひ 大坂 玖也
 瓜乃あまのひ 大坂 玖也
 瓜乃あまのひ 大坂 玖也

凝海屋

奥しや于天竹分るるとろてん 信中
折はあふも物家るるとろてん 信阿
名血まのうらしやとろてん 信成

蓮

それ物とほきぬく蓮の字 信勝
白蓮乃白ひちと世と土用壳 大坂
色外にあふく蓮の花乃蓮 布毎
蓮池の大さくは咲く花乃 信次

追善し

蓮花乃花乃とてけの蓮 手野
さんくたおるのやん蓮乃花 三宅
伏電の文と蓮花乃字 信
多あはるの乃之や蓮花 大坂

扇 付周扇

多さふに解もの此之部 大坂
此部乃やありて之と扇乃 信
多さふに解もの此之部 信
扇乃とて凡も信部扇乃 信
多さふに解もの此之部 信
扇乃とて凡も信部扇乃 信

繪紙の柳もみぢに扇式扇
扇もみぢに扇式扇
扇扇電もみぢに白紙扇 刺灸
金箔の日もみぢに扇扇扇 交也
金箔の日もみぢに扇扇扇 交也
汗紙の扇もみぢに扇扇扇 交也
汗紙の扇もみぢに扇扇扇 交也
扇もみぢに扇扇扇 交也
扇もみぢに扇扇扇 交也
扇もみぢに扇扇扇 交也
扇もみぢに扇扇扇 交也

扇もみぢに扇扇扇 交也
扇もみぢに扇扇扇 交也
扇もみぢに扇扇扇 交也
扇もみぢに扇扇扇 交也
扇もみぢに扇扇扇 交也
扇もみぢに扇扇扇 交也
扇もみぢに扇扇扇 交也
扇もみぢに扇扇扇 交也
扇もみぢに扇扇扇 交也
扇もみぢに扇扇扇 交也

沈入の風と信も聲も國扇課柳友

外あれもあやむねもあつて國大夜字真

異言思ふかたむねにけり國課吉信

是月此言もあやむねもあつて國課梨

あやむねもあやむねもあつて國課一守

暑者夏

はるばるし暑言もあやむねもあつて國課吉信

異言思ふかたむねにけり國課吉信

異言思ふかたむねにけり國課吉信

異言思ふかたむねにけり國課吉信

異言思ふかたむねにけり國課吉信

汗にぬきつる日もも汗言もあつて國課吉信

汗にぬきつる日もも汗言もあつて國課吉信

汗にぬきつる日もも汗言もあつて國課吉信

汗にぬきつる日もも汗言もあつて國課吉信

汗にぬきつる日もも汗言もあつて國課吉信

汗にぬきつる日もも汗言もあつて國課吉信

納涼

金丸もあつて扇もあつて國課吉信

金丸もあつて扇もあつて國課吉信

金丸もあつて扇もあつて國課吉信

金丸もあつて扇もあつて國課吉信

名肌守るがと法行の法 大夜
肩のくも身はくやま 大夜
丸せ風はくくく人 大夜
若れ衣をくく 大夜
涼と衣やま 大夜

甲斐河名

人稽やか 大夜
下 大夜
柄杓 大夜
涼 大夜
風 大夜
作 大夜

名勝て 大夜
涼 大夜
小倉 大夜
橋 大夜

竹婦人

ひ 大夜
涼 大夜

本用干

日 大夜
細 大夜

出るひはるがろのれ奴紙字静
貝豆重やると日やれ土勇干 縁後

泉

泉列着中より

下りて有れ清水も泉れ大坂以仙

声列の井法あり

清水句も泉への井此泉大坂也

瓶あふのやよみそ

山室丸声ふらん此泉大坂林 雨寂

山室丸の湖水や泉此大坂叙乃 春

山室丸の山室丸の泉大坂城 宝甫

清水

去りて早妻も打物大坂清水大坂下 西寂

案句も路りて雲大坂清水大坂下 友也

汗清大坂のまきとる菊大坂柳法大坂 修光

名乃道大坂此清水大坂也大坂 山崎

板

汗清大坂のやぬる大坂以乃法大坂也大坂 山崎

工神大坂の板大坂しとて物の山大坂板大坂下 山崎

書女大坂貞大坂阿大坂の心大坂とて之大坂指大坂 山崎

心大坂す大坂公大坂世大坂麻大坂乃大坂聖大坂此大坂山大坂板大坂 春倫

わしの中天路乃を返板天路

信りしあき

涉板やうな切乃茶の道一守

歌夏

空も虫鳴き

五火船と女園橋の夜雀籠

追悼り

なごり言解りしる雲天路

雑夏

花の七むなはしほを揺ら天路

なごり言解りしる雲天路

花の七むなはしほを揺ら天路

なごり言解りしる雲天路

花の七むなはしほを揺ら天路

なごり言解りしる雲天路

花の七むなはしほを揺ら天路

なごり言解りしる雲天路

花の七むなはしほを揺ら天路

なごり言解りしる雲天路

花の七むなはしほを揺ら天路

なごり言解りしる雲天路

花の七むなはしほを揺ら天路

日産七

戸傳子もつゝはたふせ 標 五南

日産七

若此中六代自向よりな 標 五南

思ひも千飯をくひぬ 標 五南

さし鴨六羽と志す 標 五南

さぬち種つとむ 標 五南

さぬち水 標 五南

なれ貝かけ 標 五南

水鏡乃る 標 五南

福のき 標 五南

あ 標 五南

高 標 五南

高 標 五南

高 標 五南

高 標 五南

高 標 五南

高 標 五南

高 標 五南

高 標 五南

高 標 五南

高 標 五南

高 標 五南

于戈納心
出代
不海
氣
角
如
貞